

地下鉄短信 (第501号) 令和4年2月4日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 大熊 昭

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

**記事〇 令和4年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催****〇 令和4年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催しました。**

去る1月28日(金)16時から、東京都千代田区麹町の東京消防庁スクワール麹町「フリースペース錦華」において、「(一社)日本地下鉄協会令和4年講演会」を開催し、国土交通省鉄道局 鶴田浩久次長様から、「地下鉄への期待に応えるために」という演題で、講演をいただきました。

今回の講演会は、新型コロナウイルス感染症が再拡大する折、会場での聴講とリモート視聴での併用開催となりましたが、協会会員をはじめ協会関係者・関係団体等から100名を超える数多くの方々に参加いただく事が出来ました。

冒頭、主催者を代表して協会副会長の根津東武鉄道株式会社代表取締役社長の挨拶の後、講演に入りました。



講演会で挨拶する根津副会長



鶴田鉄道局次長のご講演

講師の鶴田次長は、旧運輸省に入省以来、若い頃は鉄道を中心に仕事をされ、その後は、鉄道局はもとより、自動車局、航空局、観光庁などで、幅広く運輸行政に携われ、昨年7月に、航空局航空ネットワーク部長から、現職の鉄道局次長に就任されました。

講演では、新型コロナウイルスの影響とそれに対する政府の支援策、鉄道関連予算及び税制、新線及び延伸を含む都市鉄道整備の概要についてのご説明があり、その後、車内傷害事件と今後の対策、バリアフリー化をめぐる動きなど、最近の動向についてのご紹介がありました。

最後に、人口減少の中で鉄道の利用は増加していること、CO₂対策の観点からも鉄道の果たす役割は重要であることなどから、今後も地下鉄に対する期待は大きい旨、述べられました。

鉄道行政の現状と課題、都市鉄道のあり方と今後の方向などが凝縮された、非常に示唆に富む、有意義なご講演でした。

(注) 必要に応じ、社局内への転送、回覧などをお願いいたします。

配信先の変更又は追加をご希望の場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

また、本短信についてのご意見、ご要望等もお寄せ下さい。 連絡先：ookuma@jametro.or.jp